

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	藤田 真頼
主な担当科目	合奏Ⅰ①,合奏Ⅲ①
シラバス	ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。) ※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック
2023年の 教育目標・授業に 臨む姿勢	昨年同様、大学への出校時間を早め、授業、レッスンへの準備を十分できるように心がける。室内楽、合奏、音楽活動研究等の授業は楽譜や資料等の準備を行い学生にわかりやすい授業を展開する。演奏会実習、コンチェルト実習では、学生達の要望に応え追加のレッスンを積極的に行う。個人レッスンでは学生達の個性に対応し、様々な方法を当てはめ学修意欲を促した。基礎ゼミに於いては弦管打部会のプレゼンの準備、作成、演奏、台本を担当した他、授業内での学生とのやり取りを大切にし学生の積極性を促した。海外からの招聘教授による特別講座では、人選、交渉、会議資料作成、タイムスケジュール、チラシ作成、当日アテンド、通訳等を担当する。
2023年の教育に関 する自己評価	学生とのコミュニケーションも自然に取れるようになり、新入生とも上手く人間関係が作れたと思う。室内楽では受講生が多く割り振りに苦労したが、学生達の理解は得られたと思う。グループ分けの作業も兼任した。また、例年通りオーケストラの授業に於いての乗り番の調整、工藤重典客員教授のレッスンの調整などの業務も行った。その他の授業は昨年同様で、より要領を得て取り組めた。演奏会実習では追加のレッスンをを行い演奏会の成功に役立てた。合奏の授業も良い授業になっていると思うが、敬遠する学生もいる。必修授業なので今後の対応を考えたい。その他、海外からの招聘教授の特別講座は5月にシルヴィア・カレッドウ氏、6月にパリ管金管5重奏、等含め前年より納得のいく授業が出来た。
2023年のFD活動 に関する自己評価	9月のFD合同研修会では分科会グループでファシリテーターを担当した。テーマに沿って、専門の違う各先生方からのご意見を引き出し、会話と議事の進行を円滑に行い、議事録の作成、提出をした。また、弦管打部会のFD分科会では議題の選定、議事作り、司会を担当し、其々の先生方からのご意見を伺った。FDに於いて各先生方との親睦、ご意見の交換ができると共に、部会内での決まりごとの確認、各部署からのご要望などがあり、次年度への運用に生かしていきたいと感じた。
授業改善のために 取り入れた研修内容	室内楽、合奏の授業について、フレーズ、楽節にA,B,Cの記号を付け、それぞれのフレーズの関係性をシンプルにわかりやすく学生に説明する。 演奏している曲のクライマックスは何処なのかを考え、そこに至る経緯を計算して音楽作りにアプローチする。 音色、音程、音量のバランスを整え、自分自身でコントロールするように誘導する。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書
『大学院、室内楽特別演習①②』

教員コード:2722 教員名:藤田 真頼

1)アンケート結果に対する所見

大学院の室内楽特別演習は、グループのレッスン、成果発表の参加、視聴、公開レッスンの受講、聴講によるもので、其々の学生は満足のゆくものになっていると思う。

2)要望への対応・改善方策

具体的な要望はなかったので、このまま現状維持で続けたい。

3)今後の課題

レッスンの出席が、後半に偏りがちになるので、早いうちから出席できるよう学生に指導していきたい。

以 上